

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 4 月 14 日 (2005.4.14)

【公開番号】特開 2001-157671 (P2001-157671A)

【公開日】平成 13 年 6 月 12 日 (2001.6.12)

【出願番号】特願 2000-208882 (P2000-208882)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 5/05

【F I】

A 6 1 B 5/05 B

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 6 月 9 日 (2004.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の情報を入力可能にするための設定スイッチと複数の情報を変更するための変更スイッチ及び測定を開始するための測定スイッチを含む入力手段と、物体の特性を測定するための測定手段と、前記入力手段によって入力された複数の情報を記憶する記憶手段と、記憶手段に記憶された情報及び測定手段により測定された物体の特性からある指標を演算し制御する演算制御手段と、前記入力手段から入力された情報及び演算制御手段で求められた指標を表示するための表示手段とを有し、

前記演算制御手段は、測定を開始するための測定スイッチが押されたのに続いて、情報を変更するための変更スイッチが押された場合には、前記記憶手段に記憶されている複数の情報のうち特定の情報の入力状態となり、その特定の情報のみを変更することを可能とした測定装置。

【請求項 2】

前記複数の情報のうち変更することが可能な特定の情報を切り替えることができる切替手段を更に設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の測定装置。

【請求項 3】

前記演算制御手段は、物体の特性を測定するための測定スイッチを押した場合に、測定する前と測定中に、前記記憶手段に記憶された複数の情報のうち、変更が可能な前記特定の情報を表示手段に表示することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の測定装置。

【請求項 4】

前記演算制御手段は、測定手段における物体の特性を測定中に、測定値が異常値の場合は、前記特定の情報を表示手段に表示したまま測定を継続し、測定値が正常値の場合は、記憶装置に記憶された情報及び測定手段からの測定値から指標を求め、求められた指標を表示手段に表示することを特徴とする請求項 3 に記載の測定装置。

【請求項 5】

個人毎の身体情報を入力可能にするための設定スイッチと種々の身体情報を変更するための変更スイッチ及び個人毎に測定を開始するための測定スイッチを含む入力手段と、生体情報を測定するためのセンサと、前記入力手段によって入力された個人毎の身体情報を記憶する記憶手段と、記憶された身体情報及び測定された生体情報から測定者の健康に関する指数を演算し制御する演算制御手段と、前記身体情報及び演算制御手段で求められた情報を表示するための表示手段とを有し、

前記演算制御手段は、個人毎の測定を開始するための測定スイッチが押されたのに続いて、身体情報を変更するための変更スイッチが押された場合には、前記記憶手段に記憶されている個人の複数の身体情報のうち、特定の身体情報の入力状態となり、その特定の身体情報のみを変更することを可能とした健康指標測定装置。

【請求項 6】

前記複数の身体情報のうち変更することが可能な一つの情報を切り替えることができる切替手段を更に設けたことを特徴とする請求項 5 に記載の健康指標測定装置。

【請求項 7】

前記演算制御手段は、個人毎に生体情報を測定するための測定スイッチを押した場合に、生体情報を測定する前と測定中に、記憶された個人の身体情報のうち、変更が可能な前記一つの情報を表示手段に表示することを特徴とする請求項 5 または 6 に記載の健康指標測定装置。

【請求項 8】

前記演算制御手段は、生体情報を測定中に、測定値が異常値の場合は、変更が可能な前記一つの情報を表示したまま生体情報の測定を継続し、測定値が正常値の場合は、記憶装置に記憶された身体情報及び測定された生体情報から健康に関する指数を演算装置で求め、求められた結果を表示手段に表示することを特徴とする請求項 7 に記載の健康指標測定装置。

【請求項 9】

個人毎の身体情報を入力可能にするための設定スイッチと性別、年齢、身長、体重等の身体情報を変更するための変更スイッチ及び個人毎に体脂肪率測定を開始するための測定スイッチを含む入力手段と、身体に接触させインピーダンスを測定するための電極を含むインピーダンスセンサと、前記入力手段によって入力された個人毎の身体情報を記憶する記憶手段と、記憶された身体情報及び測定されたインピーダンス値から測定者の体脂肪率を演算し制御する演算制御手段と、前記身体情報及び演算制御手段で求められた体脂肪率を表示する表示手段とを有し、

前記演算制御手段は、個人毎に体脂肪率測定を開始するための測定スイッチが押されたのに続いて、身体情報を変更するための変更スイッチが押された場合には、前記記憶手段に記憶されている複数の身体情報のうち一つの情報の入力状態となり、その情報のみを変更することを可能とした体脂肪率測定装置。

【請求項 10】

前記複数の身体情報のうち変更することが可能な一つの情報を切り替えることができる切替手段を更に設けたことを特徴とする請求項 9 に記載の体脂肪率測定装置。

【請求項 11】

前記演算制御手段は、個人毎に体脂肪率を測定するための測定スイッチを押した場合に、インピーダンス値を測定する前と測定中に、記憶された個人の身体情報のうち、変更が可能な前記一つの情報を表示手段に表示することを特徴とする請求項 9 または 10 に記載の体脂肪率測定装置。

【請求項 12】

前記演算制御手段は、インピーダンス値を測定中に、測定値が異常値の場合は、変更が可能な前記一つの情報を表示したままインピーダンス値の測定を継続し、測定値が正常値の場合は、記憶装置に記憶された身体情報及び測定されたインピーダンス値から体脂肪率を演算装置で求め、求められた体脂肪率を表示手段に表示することを特徴とする請求項 11 に記載の体脂肪率測定装置。

【請求項 13】

前記複数の身体情報のうち変更することが可能な一つの情報は、体重値であることを特徴とする請求項 9 から 12 のいずれか 1 項に記載の体脂肪率測定装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

本発明に係わる測定装置では、複数の情報を入力可能にするための設定スイッチと複数の情報を変更するための変更スイッチ及び測定を開始するための測定スイッチを含む入力手段と、物体の特性を測定するための測定手段と、前記入力手段によって入力された複数の情報を記憶する記憶手段と、記憶手段に記憶された情報及び測定手段により測定された物体の特性からある指標を演算し制御する演算制御手段と、前記入力手段から入力された情報及び演算制御手段で求められた指標を表示するための表示手段とを有し、

前記演算制御手段は、測定を開始するための測定スイッチが押されたのに続いて、情報を変更するための変更スイッチが押された場合には、前記記憶手段に記憶されている複数の情報のうち特定の情報の入力状態となり、その特定の情報のみを変更することを可能とした。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

また本発明に係わる健康指標測定装置では、個人毎の身体情報を入力可能にするための設定スイッチと種々の身体情報を変更するための変更スイッチ及び個人毎に測定を開始するための測定スイッチを含む入力手段と、生体情報を測定するためのセンサと、センサから得られた生体情報出力及び前記入力手段によって入力された個人毎の身体情報を記憶する記憶手段と、記憶された身体情報及び測定された生体情報から測定者の健康に関する指数を演算し制御する演算制御手段と、前記身体情報及び演算制御手段で求められた情報を表示するための表示手段とを有し、

前記演算制御手段は、個人毎の測定を開始するための測定スイッチが押されたのに続いて、身体情報を変更するための変更スイッチが押された場合には、前記記憶手段に記憶されている個人の複数の身体情報のうち、特定の身体情報の入力状態となり、その特定の身体情報のみを変更することを可能とした。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

また本発明に係わる体脂肪率測定装置では、個人毎の身体情報を入力可能にするための設定スイッチと性別、年齢、身長、体重等の身体情報を変更するための変更スイッチ及び個人毎に体脂肪率測定を開始するための測定スイッチを含む入力手段と、身体に接触させインピーダンスを測定するための電極を含むインピーダンスセンサと、入力手段によって入力された身体情報を記憶する記憶手段と、記憶された身体情報及び測定されたインピーダンス値から測定者の体脂肪率を演算し制御する演算制御手段と、前記身体情報及び演算制御手段で求められた体脂肪率を表示する表示手段とを有し、

前記演算制御手段は、個人毎に体脂肪率測定を開始するための測定スイッチが押されたのに続いて、身体情報を変更するための変更スイッチが押された場合には、前記記憶手段に記憶されている複数の身体情報のうち一つの情報の入力状態となり、その情報のみを変更することを可能とした。